

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年11月13日

施設名	青少年体育館	所管課室	生涯学習課
-----	--------	------	-------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関する事</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する事</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること。18年度の事業内容は以下のとおり。</li> </ul> <p>&lt;平成18年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初心者バレーボール教室</li> <li>高校生バスケットボール教室</li> <li>体力づくり教室</li> <li>(スカッシュバレー)月・水曜日 (卓球)火・金曜日</li> <li>(バレーボール)火曜日 (バドミントン)金・土曜日</li> <li>小学生スポーツ教室</li> <li>(卓球・新体操・バレーボール・バドミントン・バスケットボール)</li> <li>初心者卓球教室</li> <li>初心者バドミントン教室</li> <li>青少年フェスティバル</li> <li>第9回小学生ドッジボール秋季大会</li> <li>小学生バスケットボール教室</li> <li>親子リズム体操教室</li> </ul>
施設内容	<p>青少年の健全育成並びに県民の健康増進及び体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としています。</p> <p>利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1階アリーナ 1,728㎡</li> <li>バスケットボール2面 バレーボール3面</li> <li>バドミントン10面 卓球15台</li> <li>ハンドボール1面 テニス3面</li> <li>トレーニング室 144㎡</li> <li>会議室72㎡×2室</li> <li>更衣室・シャワー室</li> <li>2階閲覧席 1500席</li> </ul>
職員体制	<p>館長1名(高知青少年の家所長兼務)</p> <p>館長補佐1名(高知青少年の家事務長兼務)</p> <p>事務員1名(高知青少年の家兼務) 指導員3名 計6名</p>

## 2 収支の状況

注:平成17年度は(財)高知県青年会館に委託契約をしていた実績を記載しています。

		17年度(決算)	18年度(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	36,721,527	37,041,000	36,773,000
	事業費収入	430,000	0	0
	使用料	5,148,000	4,963,910	4,963,910
	収入計(a)	42,299,527	42,004,910	41,736,910
支出	事業費	430,000	429,172	430,476
	管理運営費	15,338,898	15,433,767	15,820,953
	人件費	19,613,451	18,387,230	18,770,476
	消費税	1,769,178	1,748,410	1,751,095
	支出計(b)	37,151,527	35,998,579	36,773,000

### 3 利用状況

#### (1) 利用団体数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均
利用団体数	1,436	1,484	1,732	1,696	1,587

#### (2) 利用者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平均
人数	66,471	67,707	66,130	64,565	66,218

### 4 業務の評価

項目	状況説明
事業計画・運営計画の実施状況	事業計画のとおりに行われているが、特に以下の点で工夫が見られた。 平日の昼間の利用者拡大を目指して、施設主催の初心者スポーツ教室を立ち上げた結果、このスポーツ教室参加者が自主的に作ったクラブの平日昼間利用につながった。
適正な管理運営の確保	以下の点で、適正な管理運営の確保に向けた工夫が見られた。 各種団体・機関を計画的に訪問するほか、各機関紙に主催事業の募集を掲載するなど積極的な広報に努めた。
利用者サービスの維持向上	以下の点で利用者サービスの維持向上に向けた工夫が見られた。 4か月かけてトレーニング室の全利用者に対して行ったアンケート調査結果の分析・検討を基に利用者サービス向上とトレーニング室の充実を図った。
利用実績	平成17年度と比較して、利用者数が1,565人、延べ利用団体数が36団体の減少となった。これは、18時以降の利用団体が多くなったことで、仮予約が出来にくくなり、他の施設を利用するなど、継続利用の団体が徐々に減っていることが原因と考えられる。
収支の状況	利用者数が減少したことにより、平成17年度と比較して、使用料収入は184千円の減収となった。 また、管理代行料の支出については18年度当初予算額と比べて、1,153千円の削減となっている。
総合評価	A 事業計画のとおり管理運営されており、平日の昼間については利用者拡大に努力され、利用の増加につながった。また、利用者サービスの維持向上にも努力していた。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの